



釉薬をつけてます



展示場外観



作品



箸置き



登り窯



窯印



いろいろな器



西川 一光
Ikkou Nishikawa
西川 一馬
Kazuma Nishikawa

一馬氏
▶1970年2月4日
生まれ
▶1988年 岡山県備前
陶芸センター入所
▶1989年 備前焼作家
より三年間指導を
受ける
▶1992年 佐志山窯に
於いて作陶を始め
現在に至る

- 駐車場 (10台)
- 作業風景見学
- 体験教室
- 要連絡

窯印・作家印▶

佐志山窯

先

一



父の影響で唐津焼作家になった一馬さん。4〜5年岡山の備前焼で修行を重ね、唐津に戻ってからは父と一緒に窯元を営む。先人陶工たちが作り上げた伝統を基盤とし、無から有を生み出す過程において自分なりの感性を織込み、暮らしの中に潤いをもたらし焼き物をつくりたい、というのが佐志山窯の信念だ。

父・息子ともども寡黙で職人肌。自分たちの好きな物を焼くだけでなく、お客様とのニーズに合わせて良い器ができればと謙虚に語る。唐津焼の魅力である素朴さ、優しさ、温かみがお二人の手柄にも出ている印象を受けた。今後は、雑器だけでなく茶器にも挑戦していきたいと意気込んでいる。

伝統を基盤に。親子ともども職人肌。

唐津市見借 4557
TEL.0955-74-2397